日本赤十字社医療センター

# 臨床研修について

## 【2027 年度採用者向け案内】

日本赤十字社医療センター
Japanese Red Cross Medical Center

2027 年採用初期研修医募集要項

# ご挨拶

日本赤十字社医療センターにおける臨床研修の特徴は、将来を見据えた専門性の高いプログラムを備えているところにあります。

当センターでは、現行の医師臨床初期研修制度が導入される以前から臨床研修医を受け入れ、多くの専門医を育成してきました。それを引き継ぐ形で現在の研修プログラムも内科・外科・小児科・産婦人科・特定診療科の５つのコースに分かれています。いずれのコースも厚労省の規定に沿って幅広い分野での研鑽を積むことができるだけでなく、診療科専門医資格の取得を見据えた研修を行うことができます。

当センターでは全職員が一丸となって質の高い診療体制を維持し、がん診療、小児・周産期医療、救命救急及び災害医療を中核とした高度な医療を提供するとともに、安心と安全の医療を守り続けています。当センターの目指す医療は救急医療にも現れています。夜間休日診療においても、医師と研修医による診療体制を維持し、救急診療を担っています。

当センター初期研修医は病院敷地内に整備された寮に居住し、安定した住環境のもとで研修しています。院外研修として学会、研究会、講演会などへの参加、院内においては研修成果を発表する「研修医発表会（2回/年）」、CPC（4回/年）での発表、論文作成など学術活動を奨励しています。

2018年度より開始した新専門医制度における19基本領域中 8領域（内科・外科・小児科・産婦人科・救急科・麻酔科・放射線科・病理）において基幹施設としての専門研修プログラムを策定しています。また残りの領域の殆どにおいて、大学病院等と連携を組んでいることから、初期研修修了後の進路は、当センターで後期研修を行う研修医や大学医局に所属しながら当センターへ再赴任する研修医も数多くいます。

各研修医が目指す専門医資格取得を視野に入れた研修に重点を置くと同時に、総合的な診療能力を修得できる教育体制や、多職種との連携を通じて人間味豊かな臨床研修医の育成に努めています。

日本赤十字社医療センター

臨床研修運営委員会

# ―当センターの臨床研修の特色―

## ◆ 当センタープログラムと各プログラムの募集定員数

1）内科プログラム　　４名
2）外科プログラム　　４名
3）小児科プログラム　　３名　　計 16 名/学年
4）産婦人科プログラム　　２名
5）特定診療科プログラム　　３名

特定診療科プログラムとは、救急科、麻酔科、整形外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、眼科、病理のいずれかの特定診療科を選択し、研修するプログラムです。特定診療科は応募時に決めていただき、応募後の変更はできません。

2026 年度は：
　１年次　１６名（男女比　８：８）
　２年次　１６名（男女比　10：6）
　＋ 東京大学医学部附属病院からのたすきがけ１年次１名　　の計 33 名が在籍。

## ◆ 当センターのプログラム詳細

### 1）内科プログラム

内科系専門科を最大合計14か月（必修の6か月を含む）、救急科3か月、地域医療1か月、麻酔科1か月、外科2か月、小児科1か月、産婦人科1か月、精神科1か月をローテートします。
選択8か月は内科研修としますが、希望により自由選択科を1か月経験することができます。

内科系専門科＝糖尿病内分泌科、血液内科、化学療法科/緩和ケア科、膠原病・アレルギー内科/感染症科、腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科
内科系専門科は、原則2か月単位で研修を行います。

自由選択科(最大選択可能数：1か月)：放射線科、整形外科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、眼科、病理、緩和ケア科
ただし、化学療法科/緩和ケア科を内科で選択した場合は、自由選択で緩和ケア科を選択することはできません。

| 内科6か月<br>（厚労省必修） | 救急科3か月<br>（厚労省必修） | 精神科1か月<br>（厚労省必修） | 小児科1か月<br>（厚労省必修） | 産婦人科1か月<br>（厚労省必修） |
|---|---|---|---|---|
| 糖尿病内分泌科、血液内科、化学療法科/緩和ケア科、<br>膠原病・アレルギー内科/感染症科、<br>腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科<br><br>（原則2か月単位で研修） | | | | |

| 地域研修1か月(厚労省必修) | 外科2か月<br>（厚労省必修1+必修1） | 麻酔科1か月<br>（必修） | 選択8か月<br>（選択） |
|---|---|---|---|
| 渋谷区医師会 | 呼吸器外科、乳腺外科、<br>胃・食道外科、小児外科<br>肝胆膵・移植外科、<br>大腸肛門外科、心臓血管外科 | | 糖尿病内分泌科、血液内科、化学療法科/緩和ケア科、<br>膠原病・アレルギー内科/感染症科、<br>腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科<br><br>（自由選択科最大1か月経験可能） |

### 2）外科プログラム

外科専門科を最大合計9か月（必修の1か月、当センター必修の1か月の計2か月を含む）、内科6か月、救急科3か月、地域医療1か月、麻酔科2か月、小児科1か月、産婦人科1か月、精神科1か月をローテートします。

選択7か月は外科研修としますが、希望により自由選択科を2か月まで経験することができます。

外科専門科＝呼吸器外科、乳腺外科、胃・食道外科、肝胆膵・移植外科、大腸肛門外科、心臓血管外科、小児外科

自由選択科（最大選択可能月数：2か月）：放射線科、脳神経外科、泌尿器科、病理

| 内科6か月<br>（厚労省必修） | 救急科3か月<br>（厚労省必修） | 精神科1か月<br>（厚労省必修） | 小児科1か月<br>（厚労省必修） | 産婦人科1か月<br>（厚労省必修） |
|---|---|---|---|---|
| 糖尿病内分泌科、血液内科、化学療法科/緩和ケア科、<br>膠原病・アレルギー内科、<br>腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科<br><br>（原則2か月単位で研修） | | | | |

| 地域研修1か月<br>（厚労省必修） | 外科2か月<br>（厚労省必修1+必修1） | 麻酔科2か月<br>（必修） | 選択7か月<br>（選択） |
|---|---|---|---|
| 渋谷区医師会 | 呼吸器外科、乳腺外科、<br>胃・食道外科、小児外科<br>肝胆膵・移植外科、<br>大腸肛門外科、心臓血管外科 | | 呼吸器外科、乳腺外科、胃・食道外科、小児外科<br>肝胆膵・移植外科、大腸肛門外科、心臓血管外科<br><br>（自由選択科最大2か月経験可能） |

## 3）小児科プログラム

小児科を最大合計8か月（必修の1か月を含む）、内科6か月、救急科3か月、地域医療1か月、麻酔科2か月、外科2か月、産婦人科1か月、精神科1か月 をローテートします。

選択7か月は小児科研修としますが、希望により自由選択科を2か月経験することができます。

2年次は、小児科当直に参加します。

自由選択科（最大選択可能月数：2か月）：NICU（NICUは2か月連続）、放射線科、整形外科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、眼科、病理、集中治療科、緩和ケア科、保健・医療行政（保健・医療行政は2か月連続）
ただし、化学療法科/緩和ケア科を内科で選択した場合は、自由選択で緩和ケア科を選択することはできません。

| 内科6か月<br>（厚労省必修） | 救急科3か月<br>（厚労省必修） | 精神科1か月<br>（厚労省必修） | 小児科1か月<br>（厚労省必修） | 産婦人科1か月<br>（厚労省必修） |
|---|---|---|---|---|
| 糖尿病内分泌科、血液内科、化学療法科/緩和ケア科、<br>膠原病・アレルギー内科/感染症科、<br>腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科<br><br>（原則2か月単位で研修） | | | | |

| 地域研修1か月<br>（厚労省必修） | 外科2か月<br>（厚労省必修1+必修1） | 麻酔科2か月<br>（必修） | 選択7か月<br>（選択） |
|---|---|---|---|
| 渋谷区医師会 | 呼吸器外科、乳腺外科、<br>胃・食道外科、小児外科<br>肝胆膵・移植外科、<br>大腸肛門外科、心臓血管外科 | | 小児科最大7か月<br><br>（自由選択科最大2か月経験可能） |

## 4）産婦人科プログラム

産婦人科を9か月（必修の1か月を含む）、内科6か月、救急科3か月、地域医療1か月、麻酔科1か月、外科2か月、小児科1か月、精神科1か月をローテートします。

2年次に産婦人科をローテートしている際は交代制勤務となります。

| 内科6か月<br>（厚労省必修） | 救急科3か月<br>（厚労省必修） | 精神科1か月<br>（厚労省必修） | 小児科1か月<br>（厚労省必修） | 産婦人科1か月<br>（厚労省必修） |
|---|---|---|---|---|
| 糖尿病内分泌科、血液内科、化学療法科/緩和ケア科、<br>膠原病・アレルギー内科/感染症科、<br>腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科<br><br>（原則2か月単位で研修） | | | | |

| 地域研修1か月<br>（厚労省 必修） | 外科2か月<br>（厚労省必修1+必修1） | 麻酔科1か月<br>（必修） | 産婦人科8か月<br>（必修） |
|---|---|---|---|
| 渋谷区医師会 | 呼吸器外科、乳腺外科、<br>胃・食道外科、小児外科<br>肝胆膵・移植外科、<br>大腸肛門外科、心臓血管外科 | | 産婦人科8か月 |

## 5）特定診療科プログラム

（1）～（4）以外の特定診療科を専攻するプログラムです。

特定診療科（ 救急科、麻酔科、整形外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、眼科、病理 ）の中から1科を選択します。
履歴書の応募職種欄に、希望する特定診療科を記載します。応募後の変更はできません。

特定診療科最大7か月、内科6か月、救急科3か月、地域1か月、麻酔科2か月、外科2か月、小児科1か月、産婦人科1か月、精神科1か月を研修します。
選択7か月は特定診療科研修としますが、希望により自由選択科を3か月まで経験することができます。

| 内科6か月<br>（厚労省必修） | 救急科3か月<br>（厚労省必修） | 精神科1か月<br>（厚労省必修） | 小児科1か月<br>（厚労省必修） | 産婦人科1か月<br>（厚労省必修） |
|---|---|---|---|---|
| 糖尿病内分泌科、血液内科、化学療法科/緩和ケア科、膠原病・アレルギー内科/感染症科、<br>腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科 （原則2か月単位で研修） | | | | |

| 地域研修1か月<br>（厚労省必修） | 外科2か月<br>（厚労省必修1+必修1） | 麻酔科2か月<br>（必修） | 選択 7か月<br>（選択） |
|---|---|---|---|
| 渋谷区医師会 | 呼吸器外科、乳腺外科、胃・食道外科、小児外科<br>肝胆膵・移植外科、大腸肛門外科、心臓血管外科 | | 特定診療科最大7か月<br>（自由選択科最大3か月経験可能） |

### 特定診療科別　自由選択科　　詳細

| | | | |
|---|---|---|---|
| 病理 | 放射線科、整形外科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、眼科、集中治療科、緩和ケア科※（各2か月迄）、保健・医療行政（2か月連続） | 耳鼻咽喉科 | 放射線科、脳神経外科、眼科、病理、集中治療科、緩和ケア科※、保健・医療行政（保健・医療行政は2か月連続） |
| 脳神経外科 | 放射線科、整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、眼科、病理、集中治療科、緩和ケア科※（各1か月）、保健・医療行政（2か月連続） | 泌尿器科 | 放射線科、皮膚科、病理、集中治療科、緩和ケア科※、保健・医療行政（保健・医療行政は2か月連続） |
| 整形外科 | 放射線科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、眼科、病理、集中治療科、緩和ケア科※（各1か月）、保健・医療行政（2か月連続） | 眼科 | 放射線科、整形外科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、病理、集中治療科、緩和ケア科※、保健・医療行政（保健・医療行政は2か月連続） |
| 麻酔科 | 放射線科、皮膚科、病理、緩和ケア科※ | 救急科 | 選択7か月のうち、救急科3か月、放射線科1か月を経験します。<br>自由選択科：救急科（追加研修）、整形外科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、眼科、病理、保健・医療行政（保健・医療行政は2か月連続） |

※ 化学療法科/緩和ケア科を内科で選択した場合は、自由選択で緩和ケア科を選択することはできません。

**プログラム詳細は、HP「医師臨床研修」をご覧ください。**

## 地域医療研修（1 か月）について

２年次に実施。渋谷区医師会に所属する研修協力施設で行います。

## お給料

○ １年次：
基本給 23 万円／月、賞与 10 万円／年、臨床研修手当（上限 15 万円／月　評価に基づき支給）

○ ２年次：
基本給 27 万円／月、賞与 30 万円／年、時間外手当

## 住まい

○ 独身寮（敷地内　病院から徒歩数分）
間取り　１K、宿舎費及び共益費　5.3 万円～5.8 万円／月、光熱水費等　自己負担

## 採用試験（募集要項は６月中旬公開予定）

**○ 2026 年8月 15 日（土）に実施します。**

## 病院見学

○ 2027 年度採用者向けの現６年生を対象とした見学を実施中。
○ 2028 年度採用者向けの現５年生を対象とした見学は 2026 年８月から実施します。
2028 年度採用者向け見学の詳細は、７月以降当センターホームページをご覧ください。

## 進路

日本赤十字社医療センター、大学病院、市中病院など

## 当センター 後期研修制度（2018 年度開始　新専門医制度）

○ 当センターが基幹プログラムの認定を受けている領域：
内科・外科・小児科・産婦人科・放射線科・麻酔科・救急科・病理

○ 2026 年４月１日現在　後期研修医　63 名
１年次　17 名うち、内部から６名
２年次　18 名うち、内部から８名
３年次　25 名うち、内部から８名
４年次　３名うち、　内部から１名

**ご質問があれば、**
**教育研修推進室まで**
**お問い合わせください。**

**メールアドレス：**
**rinsyokensyu@med.jrc.or.jp**

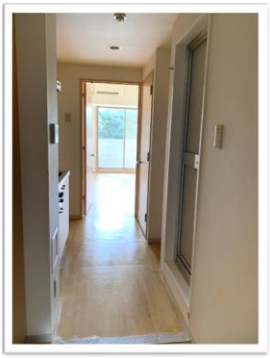
## 研修医の主な出身大学

関西医科大学、九州大学、京都大学、京都府立医科大学、国際医療福祉大学、滋賀医科大学、順天堂大学、昭和医科大学、千葉大学、帝京大学、東海大学、東京大学、東京医科大学、東京科学大学、東京慈恵会医科大学、東北大学、長崎大学、名古屋大学、藤田医科大学、北海道大学、横浜市立大学 ほか

# 敷地内独身寮　レジデンス宮代（設備など）の概要

エントランス。モニター付きオートロックです。

エレベータホール・廊下は広く、引越に困る事はありません。



玄関には大容量の収納。

壁には予めフックが取り付けられています

バス・トイレは独立。トイレ内には収納があります。

十分な広さのバスルーム。給湯温度は給湯器で調節可能で

もちろんシャワーも完備。

洗濯機は室内に設置可能。

キッチンは収納・2 口コンロ完備。

横には冷蔵庫を置くスペースもあります。

主室はエアコン・収納完備。